

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年7月2日

「バレット食道」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4391
研究課題名	バレット食道における内視鏡所見の前向きデータベース作成
所属(診療科等)	消化器内科
研究責任者(職名)	岩谷勇吾・助教
研究実施期間	2019年07月02日～2024年7月1日
研究の意義、目的	日本人のバレット食道はいまだに解明されていない点が多く、特にその長さや症状や発癌などの関連性も明らかではありません。当院ではバレット食道のある患者様の長さを計測し、記録に残しております。
対象となる患者さん	2019年7月2日以降に当院で上部消化管内視鏡検査を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、内視鏡所見など
研究方法	バレット食道の長さをプラハ分類という基準にのっとり記載し、他の内視鏡所見や年齢性別と関係があるかを検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 岩谷勇吾(消化器内科・助教) 電話: 0263-37-2634

既存の検体や診療記録、検査結果、内視鏡所見を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な

点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。